

令和8年度認定こども園の定員変更について

協議事項（1）-1

【協議事項】

芦原こども園、あわら敬愛こども園、金津こども園、白藤こども園、金津東こども園について、入園状況等を勘案して定員変更を行う。

（単位：人）

施設名	定員数等	1号			2号			3号			合計
		3歳	4歳	5歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	2歳	
芦原こども園	現行	1	1	1	19	19	19	6	16	18	100
	変更後	1	2	2	14	14	14	7	11	16	81
	比較増減	0	1	1	△ 5	△ 5	△ 5	1	△ 5	△ 2	△ 19
あわら敬愛こども園	現行	1	2	2	12	12	12	6	6	12	65
	変更後	1	1	1	15	15	15	6	10	12	76
	比較増減	0	△ 1	△ 1	3	3	3	0	4	0	11
金津こども園	現行	2	2	2	27	27	27	9	20	24	140
	変更後	1	1	1	22	22	22	12	20	22	123
	比較増減	△ 1	△ 1	△ 1	△ 5	△ 5	△ 5	3	0	△ 2	△ 17
白藤こども園	現行	1	2	2	12	12	12	3	9	12	65
	変更後	1	1	1	12	12	12	3	9	12	63
	比較増減	0	△ 1	△ 1	0	0	0	0	0	0	△ 2
金津東こども園	現行	1	2	2	14	14	14	1	3	4	55
	変更後	1	2	2	7	7	14	3	7	3	46
	比較増減	0	0	0	△ 7	△ 7	0	2	4	△ 1	△ 9

令和8年度認定こども園の定員変更について(区域毎)

協議事項(1)-2

(定員数変更施設：芦原こども園、あわら敬愛こども園、金津こども園、白藤こども園、金津東こども園)

区域	施設名	R8.3.1見込(現行定員)			R9.3.1見込(定員変更後)			
		定員数	児童数	充足率	定員数	児童数(比較)	充足率	
芦原	芦原こども園	100	78	78.0%	81	65	△ 13	80.2%
	善久寺こども園	53	48	90.6%	53	47		88.7%
	あわら敬愛こども園	65	81	124.6%	76	82	1	107.9%
	小計	218	207	95.0%	210	194		92.4%
本荘・新郷	本荘こども園	65	76	116.9%	65	60		92.3%
北潟・波松	北潟こども園	45	44	97.8%	45	41		91.1%
金津	金津こども園	140	118	84.3%	123	101	△ 17	82.1%
	白藤こども園	65	75	115.4%	63	68	△ 7	107.9%
	妙安寺こども園	65	72	110.8%	65	69		106.2%
	いちひめこども園	80	81	101.3%	80	80		100.0%
	小計	350	346	98.9%	331	318		96.1%
伊井	伊井こども園	55	55	100.0%	55	46		83.6%
金津東	金津東こども園	55	56	101.8%	46	40		87.0%
細呂木・吉崎	細呂木こども園	45	47	104.4%	45	41		91.1%
計		833	831	99.8%	797	740	(△ 91)	92.8%

参考：R8年齢別人口（R8.2.17時点）

		R8年度						
地区名	合計	年齢						
		0	1	2	3	4	5	
芦原地区	温泉	103	13	9	25	21	16	19
	山方里方	112	19	22	12	21	20	18
	小計	215	32	31	37	42	36	37
本荘地区	本荘	44	2	7	6	10	6	13
	新郷	21	0	4	4	4	3	6
	小計	65	2	11	10	14	9	19
北潟地区	北潟	31	2	4	6	10	4	5
	波松	9	0	1	0	3	3	2
	小計	40	2	5	6	13	7	7
金津地区	金津	367	50	52	72	59	68	66
伊井地区	伊井	44	3	6	8	5	10	12
金津東地区	坪江	42	10	3	7	6	7	9
	劔岳	59	2	3	46	2	3	3
	小計	101	12	6	53	8	10	12
細呂木地区	細呂木	53	6	6	6	14	11	10
	吉崎	0	0	0	0	0	0	0
	小計	53	6	6	6	14	11	10
合計		885	107	117	192	155	151	163

乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)認可に係る意見聴取

1 制度概要

全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するための制度です。対象は、生後6ヶ月～3歳未満。月10時間以内の利用で、利用料金は300円/時間。

本市では令和8年度から公立2園で実施するほか、私立1園から申し込みがありました。

2 あわら市内での実施施設

施設名：いちひめこども園

事業区分：余裕活用型乳児等通園支援事業(定員の空き枠を利用して実施)

事業の開始予定年月日：令和8年4月1日 (令和8年4月1日時点)

	0歳～2歳	利用定員の空き枠
利用定員	27	0
在籍児童数	34	

※空きが生じた時点から受け入れを開始

【参考(公立園)】

施設名：芦原こども園

事業区分：余裕活用型乳児等通園支援事業(定員の空き枠を利用して実施)

事業の開始予定年月日：令和8年4月1日 (令和8年4月1日時点)

	0歳～2歳	利用定員の空き枠
利用定員	34	8
在籍児童数	26	

施設名：金津こども園

事業区分：余裕活用型乳児等通園支援事業(定員の空き枠を利用して実施)

事業の開始予定年月日：令和8年4月1日 (令和8年4月1日時点)

	0歳～2歳	利用定員の空き枠
利用定員	54	13
在籍児童数	41	

3 利用の流れ

国が整備した「総合支援システム」を利用。

システム上で、申請→認定→面談→利用などが可能。

就学前教育・保育施設整備交付金にかかる整備計画について

1 就学前教育・保育施設整備交付金の概要

制度名	就学前教育・保育施設整備交付金
目的	保育所等の保育の提供体制確保に向けて、保育所等の新設、修理、改造又は整備に要する経費等を補助し、子どもを安心して育てることができる体制の環境を整備すること。
補助対象事業	整備計画等に基づき、保育所等の施設整備事業及び防音壁設置の実施等。新設／修理／改造／その他の施設整備（※対象範囲は要綱等に基づく）
補助率	国 1/2、市 1/4、事業者 1/4
期待される効果	受入枠の確保、老朽化対応、安全性の向上、保育環境の改善など

※なお、令和8年度以降、将来における保育需要の把握が十分であるか、当該需要に基づいた提供体制を確保するための計画となっているかを確認するため、子ども・子育て会議での承認を得ることが必要となりました。

2 令和8年度整備実施予定事業

園名称：善久寺こども園（平成3年築）

補助対象事業費：60,000千円

補助予定額：45,000千円（補助率3/4）

整備概要：避難経路確保のための保育室等改修工事（厨房改修含む）

補助制度上の区分：改築（定員の増員を行わないで改築整備を実施可）

着工予定時期：令和8年6月

3 令和8年度以降の整備実施予定

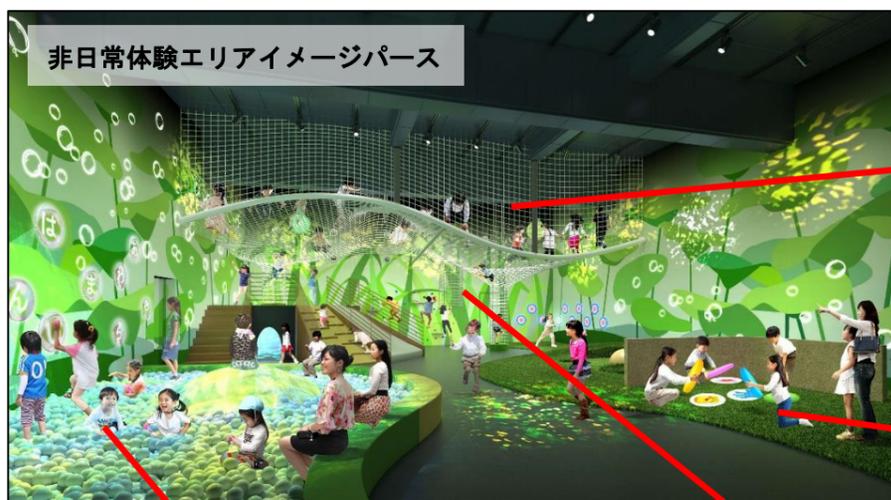
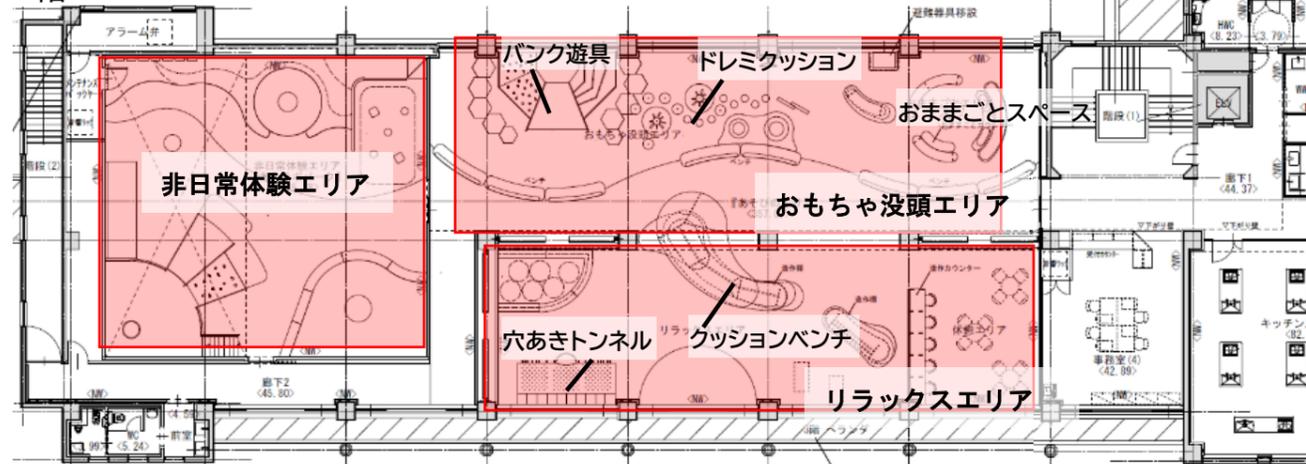
年度	園名	整備概要
令和9年度	妙安寺こども園	大規模改修（外壁等）
令和10～12年度	現時点では整備予定なし	

〈参考：令和7年度までの実績〉

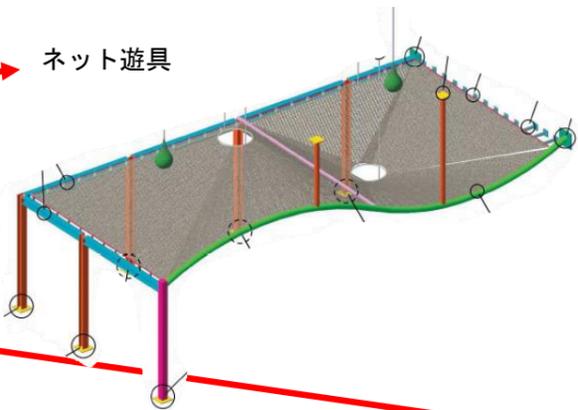
年度	園名	整備概要
令和4年度	白藤こども園	園舎修繕工事
令和5年度	いちひめこども園	非常通報装置設置新設工事
令和7年度	北潟こども園	冷暖房整備工事

全天候型こどもの遊び場の整備事業の進捗について

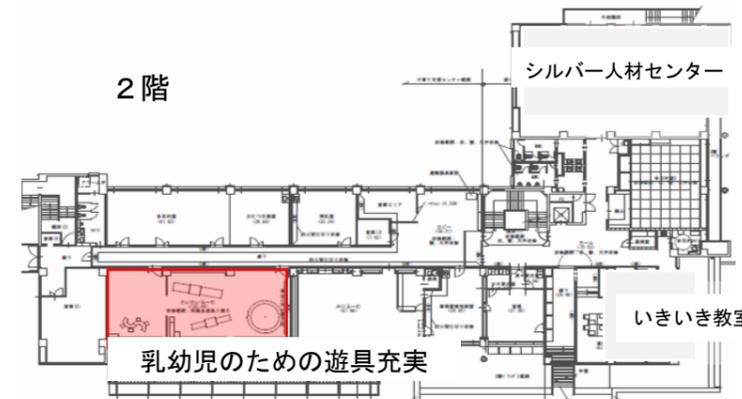
3階



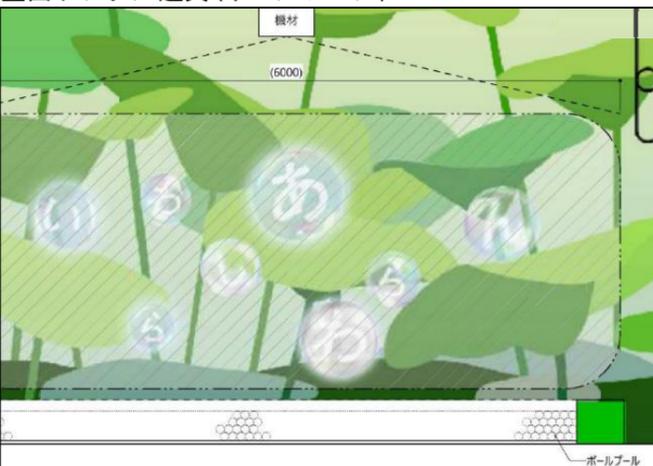
ネット遊具



2階



壁面デジタル遊具 (ボールプール)



壁にボールを当てることで、音がなり、文字が変わったり背景が変化していく。

壁面デジタル遊具 (ボルタリング)



ホールドがある付近に手を近づけると絵柄が変化する。

床面デジタル遊具 (クッションスタンプ)



スタンプをおすような感覚で床にクッションをおくことで、床に「光る絵スタンプ」が転写される。

屋上改修 (床改修、遊具設置)

簡易な遊具を設置



放課後子どもクラブの民間委託について

1 業務委託の概要

対象クラブ：芦原子どもクラブ

利用児童数：102人（令和8年2月1日時点）

受託業者名：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 金沢営業所

契約期間：令和7年8月1日から令和9年3月31日まで

委託開始日：令和7年12月1日（8月～11月末まで準備、移行期間）

2 実施状況

【8月～11月：準備期間】

- ・受託業者との引継ぎ
- ・保護者説明会の実施

【12月～：運営開始】

- ・業務内容：従来の活動に加え、企業独自のツールを使った遊びや支援を行い、より充実した子どもクラブを提供。
- ・運営体制：直営時の支援員を4人継続して雇用し、今までの雰囲気を保ちつつ、新規支援員を含め7人～8人体制で支援を行う。
- ・開所日及び利用料金：これまで通り。

3 今後の進め方

運営上の課題が生じた場合は、業者・行政・施設長で随時打合せを行い、スムーズに改善できるよう連携を強化し、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを継続して進めていく方針。